

JSTが支援する

“国際科学オリンピック”に参加しましょう!!



成績に応じた大学受験の特典制度も充実!!
進路への足がかりをつくるチャンス!



○ 第18回科学地理オリンピック日本選手権

内容:「場所を見抜く力」とそれを「的確に表現する力」を問われる。試験は3種目で行われる。

地名をどれだけ知っているか、世界の諸事情にどのくらい通じているかを競うものではありません。

参加費:無料 申込:9月1日(金)～11月15日(水) 23:59(Web申込)

流れ:【第1次選抜】12月9日(土)

オンラインで実施(マルチメディアテスト:スライドで提示する地図・図表・写真等をつかった問題に答える)

【第2次選抜】2024年2月18日(日)

東京・大阪など全国9カ所で実施(記述式テスト:地図・資料などの読解を中心にした問題に答える)

【第3次選抜】2024年3月9日(土)・10日(日)

関東地方で実施(フィールドワークエクササイズ・グループディスカッション) 9:30～16:00

選考:選抜試験の成績などを総合的に評価して、4名を日本代表として国際地理オリンピックに派遣する。

(興味がある人は、科学オリンピック共通の公式サイト <https://contest-kyotsu.com> をご覧ください)



○ 第16回 日本地学オリンピック

内容:高等学校「地学基礎」の教科書、環境災害、中学までの理科

参加費:無料(予選のみ)※本選は合宿研修を兼ねており、参加費必要

申込:9月1日(金)～11月15日(水)(Webエントリーのみ(個人 or 団体))

流れ:【予選】

一次予選:12月17日(日) 16:30～17:30 オンライン試験(スマホ利用可)

二次予選:2024年1月21日(日) 筆記試験(マークシート)@全国指定会場

【本選】

2024年3月10日(日)～12日(火) 筆記試験(記述式問題)・実技試験(標本鑑定)@茨城県つくば市

【国際大会代表選抜】

2024年3月12日(火) 討論・面接(英語) @茨城県つくば市

本選の成績優秀者10名は日本代表選考会に参加し、その中から4名の国際大会の代表を選抜

(興味がある方は、地学オリンピックWebサイト <http://jeso.jp/> をご覧ください)



○ 第34回 日本数学オリンピック

内容:前提とする知識は、世界各国の高校程度で、整数問題、幾何、組合せ、式変形等の問題が題材となる

受験料:4,000円 個人申込:9月1日(金)～10月31日(火)

流れ:【予選】2024年1月8日(月・祝) 13:00～16:00 筆記試験(12問 解答のみ) @各都道府県の設置会場

2月上旬までにサイトにて結果発表:成績順にAランク、Bランク、Cランク⇒Aランク者は表彰され、本選へ

【本選】

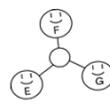
2024年2月11日(日・祝) 13:00～17:00 筆記試験(記述式問題 5問)

【代表選考合宿】

2024年3月下旬 合宿後に6名の国際大会の日本代表選手候補を決定

(興味がある方は、数学オリンピックWebサイト <https://imojp.org/> をご覧ください)

*どの項目についても興味がある or 詳細を知りたい方はGS科門井先生まで!



目指せ！
予選通過

○ 五国SSH連携プログラム「数学トレセン(トレーニングセンター)兵庫」参加者募集

目的: 数学に強い興味・関心を持った生徒が集い、互いに切磋琢磨することで、数学に対する知識・技能を高める。

日時: 第1回 11月11日(土) 9:30～16:00 第2回 12月16日(土) 9:30～16:00

(いずれか1日の参加でもよい。1校より原則6名までの参加とする。)

場所: 神戸大学附属中等教育学校

内容: 参加者が日本数学オリンピック予選に参加することを想定し、予選に関わる講演、演習・解説などを行う。

申込締切: 10月13日(金)必着 学校からまとめて申込みますので、日数に余裕をもって相談にくること。

○ 地域課題解決に取り組む高校生サミット～兵庫から日本を考える～参加者募集
(第13回瀬戸内海の環境を考える高校生フォーラム)

目的: 瀬戸内海の環境等の地域課題に加えて、内陸の様々な環境等も考える、海、森、川のつながりを考えた様々な地域課題の取り組みについて発表や情報交換を行い、地域課題について議論し、さらに深めた内容について発表を行う。

日時: 11月19日(日) 10:00～16:40(予定)

会場: 兵庫県立尼崎小田高等学校(主催)

発表内容: 瀬戸内海(広く海や水環境)における環境や防災等の地域課題の取組

兵庫県における環境(森、川、海、里山、里海、山間部、都市部、防災等)の地域課題の取組

兵庫県内の高校における環境に関するテクノロジーの取組

参加形態: 来校参加の場合→ポスター発表

オンライン参加の場合→パワーポイントによる画面共有での発表

紙面発表(資料協力)の場合→資料(A4:1頁程度)提出

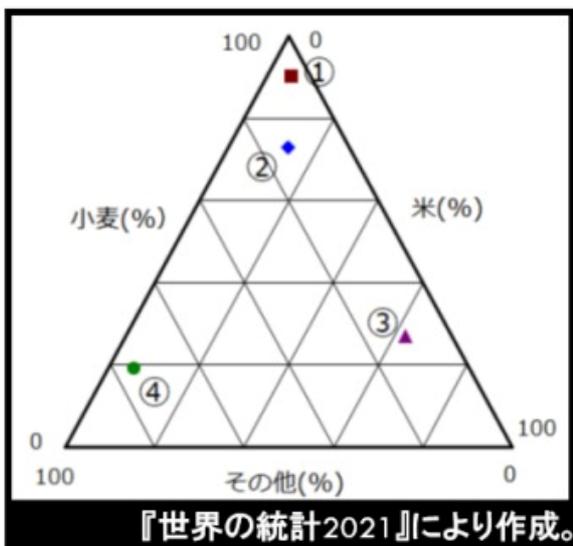
申込締切: 10月12日(木) 学校からまとめて申込みますので、日数に余裕をもって相談にくること。

参加校旅費支給あり。

科学オリンピック 過去問にチャレンジしてみよう



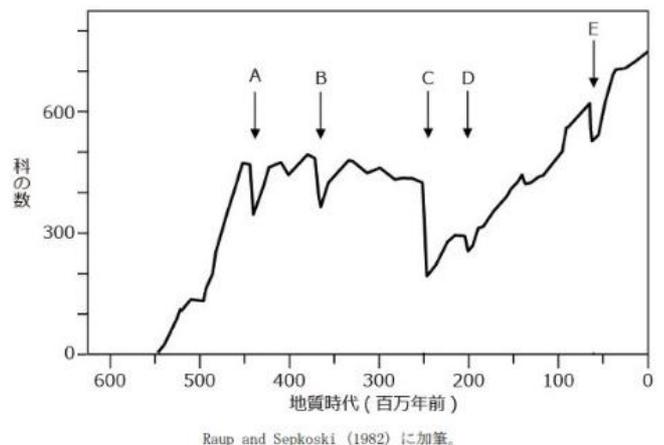
○ 図は、イタリア、パキスタン、マレーシア、メキシコの一人当たり供給食料(穀物)のうち小麦、米、その他の割合(2018年)を示したものである。次の①～④のうち、パキスタンはどれか。



『世界の統計2021』により作成。

科学地理オリンピック2022年第1次選抜より(一部抜粋)

○ 次の図は、顕生累代の生物の科の数の変化を示している。A～Eは急激に科の数が減少する生物大量絶滅である。これらの大量絶滅の説明について、適切なものを①～⑤からすべて選びなさい。



Raup and Sepkoski (1982) に加筆。

- ① Aの大量絶滅では、パーフェクト動物群が絶滅した。
- ② Bの大量絶滅では、陸上の爬虫類が絶滅した。
- ③ Cの大量絶滅は、古生代と中生代の境界にあたる。
- ④ Dの大量絶滅は、三畳紀とジュラ紀の境界にあたる。
- ⑤ Eの大量絶滅は、隕石衝突が原因と考えられている。

日本地学オリンピック2022年二次予選より(一部抜粋)

解答は各オリンピック公式HPにあります。
日本数学オリンピック公式HPにある過去問も参考にしてください。